がん治療、優遇制度…

地方経済の浮揚には官民が手を組んだ施策は欠かせない。群馬特有の技術や観光資源を生かした、地域振興の取り組みが盛んになっている。

官民タッグで成長軌道へ

医療産業を柱に

機器開発から販売まで

県央

群馬県は群馬大学（前橋市）の重粒子線治療技術を中心に先進医療産業の集積を目指す。2月にいったんは国際戦略総合特区の指定が見送られたが、県内企業の参入の機会を増やせるよう内容を改善。9月に併願していた地域活性化総合特区としてがん地域特区の指定を受けた。これを受けて、地元の中小企業が医療分野での業容拡大や新規参入を狙う動きが本格的に始まった。

県内の中小企業の経営者ら19人が出資して医療機器開発の新会社「クオンタム・メディカル・ドライバー・コーポレーション（QMD）」を設立した。コンピューター断層撮影装置（CT）やエックス線治療装置を開発し、県内企業で部品製造などを担う。資本金は950万円で参加者の業種は金属加工や自動車部品など幅広い。群馬大や大手企業の助言を受けて、機器の開発から販売までの普及を目指す。出資者の一人で蔵前産業（同）の橋本勝会長は「群馬発の医療機器を世界中に売れるチャンス。新産業をおこしたい」と大きな期待を寄せる。

先端医療機器の製造にはノウハウなどハードルは高いが、大学や大手メーカーが協力することで機器製造に弾みをつける。県でも特区に参画する東芝や三菱電機などの重粒子線装置をつくる大手メーカーと県内中小企業の部品製造に向けたマッチングの機会を提供する。

がん治療の産業集積を目指す群馬県

三セクで〝陸の港〟

技術生かし新商品

県東部

太田市などが出資する第三セクター、太田国際貨物ターミナル（OICT）の「海上コンテナ専用ターミナル」が4月に完成した。内陸で通関業務を担える海上貨物の施設は国内初だ。首都圏に集まっている国際物流の混雑を緩和でき、企業は物流費を減らせる。

北関東自動車道の太田桐生インターチェンジ（太田市）から車で15分圏内で、東京港（東京都江東区）まで110キロメートル、茨城県の常陸那珂港区までは140キロメートルに位置する。貨物の中継点（インランドデポ）にとどまらず、複数の荷主の荷物を混載したり、空コンテナを輸出に利用したりできる。外国貨物として扱われるため、港湾まで消費税の免税措置がある。

専用ターミナルの新設により、既存施設に空きが生まれる。環太平洋連携協定（TPP）などの貿易自由化をにらんで、農産物の輸出に限定した「植物防疫所」を誘致する考えもある。貨物業界は韓国との価格競争に巻き込まれ、釜山港に一部の国内貨物が運ばれており、巻き返しにつながるか注目を集めている。

機械加工の基盤技術で培ったノウハウを生かして、自社ブランド品の成長を探るのは根本製作所（桐生市）だ。小型歯車の製造から創業し、現在は減速機を設計から組み立てまで一貫生産する県内でも珍しい会社だ。国内のモーターメーカーから1個1個仕様の違う高精度の案件が舞い込む。

同社が開発した自社ブランド品は展示用ターンテーブル「くるとん＝写真」だ。機械加工の展示会に参加するのを機に「自社の減速機を紹介するのにあったらいいなぁ」（根本健一社長）と考えて自作した。するとターンテーブルが欲しいという意外な反応を受けて商品化を決めた。

これまで有名デザイナーの新作発表会でマネキンを乗せるために採用されたほか、リース会社への納入も決まった。家庭用コンセントで動き、重さは100キログラムまで耐えられる。駆動部のモータに搭載する減速機メーカーの技術力が生きた。「ブライダルフェアでドレスを展示できるので結婚式場にも提案していきたい」と根本弘明専務の声が弾む。

根本製作所は自社ブランドとして展示用ターンテーブルを拡販する

企業の投資後押し

優遇制度や誘致セミ

県西部

高崎市は、独自の優遇制度で企業の成長を促している。市は旧国鉄高崎操車場跡地（14・8ヘクタール）を対象に「ビジネス立地奨励金」を創設。限度を設けずに土地取得費の30％を交付し、新たに取得した土地や建物の固定資産税や上下水道の料金の5年間補助などを盛り込んだ。手厚い支援体制に進出企業が相次いでいる。

まちなかのにぎわい創出にも熱心だ。13年度から「まちなか商店リニューアル助成事業補助金」を開始。100万円を上限に店舗改装費用などの半額を助成する制度だが、開始早々に予算枠を上回り増額を決めた。この制度は店舗の改装や備品の購入を市内の施行・販売会社に発注することが条件。高崎市を地盤とする高崎信用金庫の新井久男理事長は「企業の流出防止に歯止めがかかり、店舗改装では融資にも波及効果がある」とし「行政と民間企業が連携して具体的な知恵を絞りながら高崎の魅力アップにつなげたい」と話す。

県外企業の進出が好調な藤岡市は7月5日に名古屋市で企業誘致セミナーを初めて開いた。医療品製造のオオサキメディカル（名古屋市西区）や緩衝材製造の和泉（同北区）の社長が群馬県進出の狙いなどを紹介。また藤岡市の新井利明市長らが交通アクセスの良さやリスク分散などの魅力をアピールした。藤岡と名古屋は高速道路で4時間ほど。震災後、バックアップ拠点の必要性が増す中、群馬、藤岡の魅力を伝えた。

ガーゼや脱脂綿、お産キットなどを手がけるオオサキメディカルは13年4月に同市で関東物流センターを稼働した。南海トラフでの大地震が懸念される中、物流網の整備はそのまま被災リスクの減少につながる。最大の使命と位置づける「安定供給」が目的だ。

在庫や資材の大半が集中する中部地区の機能を群馬に分散して東日本地域への供給拠点にした。群馬は震度4以上の地震は少なく、北関東自動車道の開通や幹線道路の整備が相次ぐなど利点は多い。さらに土地の安さなども決め手になった。

藤岡市で稼働を始めたオオサキメディカルの物流センター

酒蔵は文化拠点

観光で地域おこし

県北部

尾瀬ケ原や豊富な温泉など県内屈指の観光資源を持つ県北部。人口約3500人の川場村で一風変わった地域おこしが始まろうとしている。

「世界中から観光客が集まるモデルにしたい」。「水芭蕉」などの銘柄で有名な永井酒造（川場村）の永井則吉社長はそう構想を披露する。

参考にするのはフランスのシャンパーニュ地方だ。ワインの蔵やぶどう農家など地域が連携して観光客が訪れ、ワインや地元の文化を楽しむ拠点になった。永井社長は「いずれ川場も酒蔵ツーリズムを中心に観光の拠点にしたい」と話す。

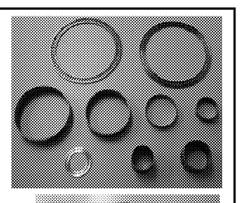
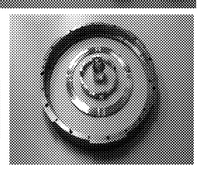
10月中旬、村の食材や観光資源を発信する「KAWABA国際自然文化サミット2013」が開かれた。永井社長は地元の酒蔵4社と地ビール、ワイン会社と協力して試飲などを企画して魅力を紹介した。

永井社長は「酒蔵は地域の情報発信地であり、文化の発信地だった」とし、「首都圏を手始めに将来は海外からも誘客できるように川場のライフスタイルをブランド化したい」と意気込む。

永井酒造は川場村で酒蔵ツーリズムの広がりに期待する

●薄肉加工品の真円度
ミクロン精度の追求
厚さ0.5ミリ位のリングをパイプまたは丸棒より削りだし真円度20ミクロン以下に仕上げ
大きさは直径5㎜から800㎜まで可能

●幅 薄肉品の平面度、
平面度のミクロン精度の追求
寸法精度のだしずらい幅方向の平面度
平行度の精度を追求
幅1.0～10.0
平面度0.01
平行度0.01

ISO 9001認証取得
株式会社山岸製作所
〒370-0081 群馬県高崎市浜川町590-23（浜川工業団地内）
TEL027-360-4100㈹　FAX027-344-5850
E-mail info@yamagishi-ss.com　URL http://www.yamagishi-ss.com

KOBANA METAL WORK
http://kobana-flett.com
小花製作所　検索

「住み良い暮らしと元気な地球」を目指す
環境浄化技術のご相談は！
株式会社 環境浄化研究所
― 日本原子力研究開発機構第1号認定企業 ―
〒370-0833 群馬県高崎市新田町5－2
Tel(027)322-1911　Fax(027)322-1912

未来が見える新しい融合――
群馬産業人クラブ
《入会お申し込み・お問い合わせは》群馬産業人クラブ事務局
〒371-0024 群馬県前橋市表町1－24－1 フィフティストームビル3F
（日刊工業新聞社・群馬支局内）
Tel.027(223)3187　Fax.027(223)3188
〈主な事業活動〉
◎講演会・研究会の開催　◎ゴルフ大会
◎工場・研究所見学会　◎産学官交流会
◎新聞への会員情報掲載　◎他クラブとの交流・懇談会

食品洗浄の新発想
「クリアウェーブ水流」
― 多彩な機能を搭載した 新しい食品洗浄機を提案します ―
独自の"クリアウェーブ水流"使用
確かな異物の再付着防止機構
循環水・水道水併用の節水設計
工具不要 ワンタッチで分解可
食品洗浄機 AQUA WASH アクアウォッシュ TWS-1300A
TIGER Kawashima
株式会社 タイガーカワシマ
本社・工場 〒374-0134 群馬県邑楽郡板倉町大字籾谷 2876
TEL.0276-55-3001(代) FAX.0276-55-3006 http://www.tiger-k.co.jp/
タイガーカワシマ　検索

JUN CORPORATION
ガスインジェクションのNo.1をめざすプラスチック射出メーカーです。
http://www.jun-corporation.com

―次代に新しい光を―
Cast a New Light
http://www.akidc.co.jp/
群馬県中小企業モデル工場 ／ 群馬県一社一技術認定工場
ISO 9001 ISO 14001 BUREAU VERITAS Certification
AKIBA 株式会社 秋葉ダイカスト工業所
〒370-0072 群馬県高崎市大八木町580 TEL：027-361-4499 FAX：027-361-0272

EAST JAPAN MACHINE PLAZA
株式会社 小林機械
東日本マシンプラザ
（本社）：群馬県館林市赤生田本町3831番地2
TEL 0276-74-4406　FAX 0276-74-6731
E-mail info@kkmt.co.jp
URL http://www.kkmt.co.jp/
『信頼』という無形財産を原動力に
誠意と行動で前進します。
当社では機械の販売・買取だけでなく、細かいメンテナンス・修理やアフターケア等にも対応させていただき、お客様からご信頼をいただいております。

限られたスペースを有効に…
倉庫内を立体化
物流の新提案!!
ネスラック®-PL
特許取得!
ワンウェイ用軽量プラパレットに対応し幅広い用途に使用できます。物流の合理化、省力化、スペースの有効活用に抜群の威力を発揮します。
レンタル承ります!!
◆使用例　◆空パレ保管時
特長
●自由に移動できる棚　●耐久性は半永久的
●多段積みで空間の有効活用　●不要時のスペース効率抜群
●コンパクト設計のため低コスト　●作業効率を大幅アップ
●常時在庫保有のため、短納期可能
荷役運搬機器の総合メーカー
OKD 岡田工業株式会社
代表取締役社長　岡田　和夫
本社工場　〒370-0306　群馬県太田市新田市野倉町 282 番地 2
TEL0276(60)4711(代表)・FAX0276(60)4741
東京営業所　〒101-0045　東京都千代田区神田鍛冶町 3－3
TEL03(3254)8631(代表)・FAX03(3254)2832
URL http://www.okada-industry.co.jp/